

皇居



沿革

皇居は、江戸時代に徳川歴代将軍が居城としていた所である。明治維新の後、明治天皇は、千数十年にわたって天皇がお住まいになっていた京都からお移りになった。以来、ここに天皇がお住まいになり、宮殿では諸行事が行われてきた。昭和20年(1945年)に焼失した明治宮殿に代り、昭和43年(1968年)に現在の宮殿が完成した。

皇居の面積は約115万平方メートルで、濠で囲まれており、周囲に8つの門がある。



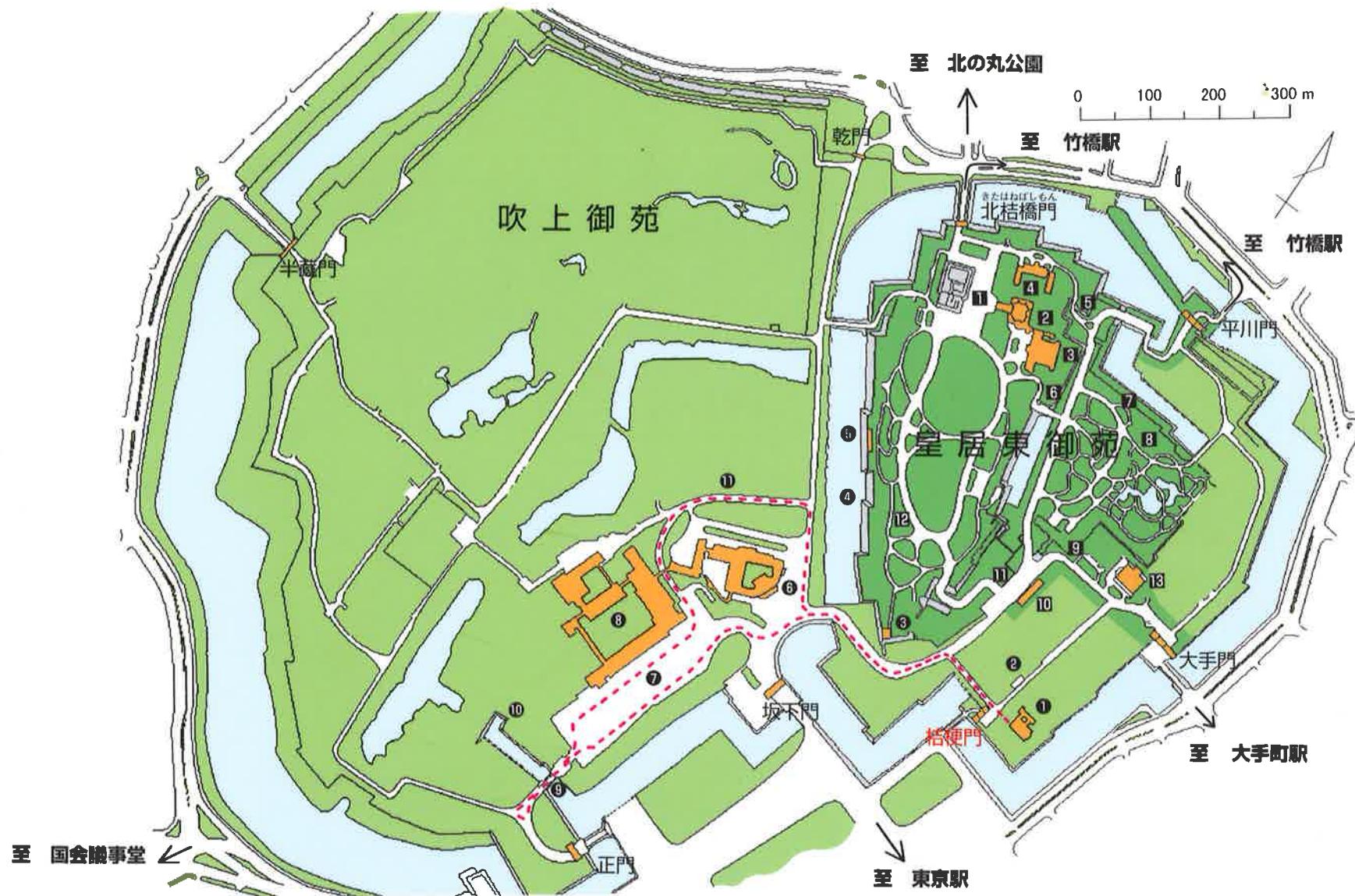
宮内庁参観音声
ガイドアプリ

このパンフレットは、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



皇居案内図

(……一般参観コース) 参観所要時間は約1時間15分



1 一般参観コースから見える建物等

- ①窓明館（休所）
- ⑤富士見多聞
- ⑨正門鉄橋（二重橋）
- ②旧枢密院庁舎
- ⑥宮内庁庁舎
- ⑩伏見櫓
- ③富士見櫓
- ⑦宮殿東庭
- ⑪山下通り
- ④蓮池濠
- ⑧宮殿

2 皇居東御苑内にある建物等

- ①天守台
- ⑥汐見坂
- ⑩百人番所
- ②桃華楽堂
- ⑦都道府県の木
- ⑪大番所
- ③樂部庁舎
- ⑧諏訪の茶屋
- ⑫松の大廊下跡
- ④書陵部庁舎
- ⑨同心番所
- ⑬三の丸尚蔵館
- ⑤梅林坂

このパンフレットは、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。

